

神戸デジタル・ラボとNTT参加

料業 無事 地続 街ト 市ネ

新サービスを提案へ

NTT西日本と神戸デジタル・ラボ（神戸市）は二十五日までに、NP O法人デジタルサーカス

（同）などが神戸の中心部で手掛けるインターネット接続事業に参加することを決めた。事業を顧客に紹介したり、新サービスを提案する。デジタルサーカスとネット接続会社「ムーブ」が「LUS」と名

付け昨年十二月から開始。三宮や北野、旧居留地に至るエリアで無線LAN（構内情報通信網）を活用、対応ソフトを搭載したパソコンから無料でネット接続できる。

メーカーの協力を得て飲食店などに専用の無線機器を無料で提供。現在二十三店が加盟し、二〇〇五年までに約四百カ所への機器設置を目指す。

NTTは兵庫支店が、光ファイバーを使った超高速ネット接続サービス「Bフレッツ」の営業活

動の一環でLUSを紹介する。また神戸デジタル社は無線LANを活用し、ネットを使った売り上げ管理や経理システムの提供、監視カメラによる映像配信サービスなどを検討している。夏以降に導入予定。

無線機器の提供は無償だが、各店舗は回線の取得やネット接続に別途、有料契約が必要。神戸デジタル社の永吉一郎社長は「付加価値のあるサービスを店舗に提案することで、普及を加速させた」としている。